

課題解決型高度医療人材養成プログラム申請書 (医師養成プログラム)

【様式A-1】

事業の構想等

申請担当大学名 (連携大学名)	金沢大学 (富山大学、福井大学、金沢医科大学) 計4大学		
取組	1 - (2) - ①	申請区分	共同申請
事業名 (全角20字以内)	北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン		

1. 事業の構想 ※事業の全体像を示した資料(ポンチ絵A4横1枚)を末尾に添付すること。

(1) 事業の全体構想

①事業の概要等

<p>〈テーマに関する課題〉</p> <p>社会の超高齢化を背景に、認知症の分野で特に高度な知識・技術を有する医師が求められている。特に高齢化が進む北陸地域におけるハイレベルの認知症専門医師の育成を課題に本プログラムを実施する。</p>
<p>〈事業の概要〉(400字以内厳守)</p> <p>本プランは北陸の医科系4大学(金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学)が地域医療機関、研究機関、自治体等と連携して実施する。①本科コース(認知症チーム医療リーダー養成)を中心に、②インテンシブ研修コース(地域認知症専門医師研修)、③スペシャル研修コース(認知症・神経難病の臨床病理研修、地域フィールド認知症早期発見・予防・ケア研修など)、及び④スーパーコース(認知症スーパープロフェッショナル養成のための卒前・卒後一貫教育)からなる。本科コースでは、高度の知識・技能を有する認知症チーム医療リーダー医師養成、研修コースでは、地域医療機関を活動拠点とする医師の認知症専門研修(インテンシブ)と認知症・神経難病の臨床・病理研修や地域フィールド研修などの特色のある領域の短期研修(スペシャル)、スーパーコースでは、卒前・卒後一貫教育により高度な研究力を有する認知症スーパープロフェッショナル医養成を行う。</p>

②大学・学部等の教育理念・使命(ミッション)・人材養成目的との関係

<p>人口の高齢化と共に急増する認知症に対してプロフェッショナル医を養成する本プログラムは、『21世紀の時代を切り拓き、世界の平和と人類の持続的な発展に資するとの認識に立ち、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」の位置付けをもって改革に取り組むこと』という金沢大学憲章が掲げる理念と目標に完全に一致する。また、金沢大学新ストラテジー(YAMAZAKIプラン2014、平成26年度開始)では、臨床研究の推進と先進的医療を担う人材育成を課題のひとつとして位置づけ、全学を上げて改革を断行している。さらに、金沢大学においては、『高齢化(aging)』をキーワードとした医学系研究科の大学院重点化(平成13年度)、文理架橋型の21世紀COE・革新脳科学(平成16~20年度)の実績、知的クラスター創成事業(平成16~24年度)によって育成されてきた認知症関連研究の基盤等があり、本プログラムは人材養成の観点から、こうした大学の特性、機能を一層強化する。これは、金沢大学の強みや特色を伸ばし、その社会的役割を一層果たしていくという金沢大学の機能強化プランに合致する。</p>
--

③新規性・独創性

高齢化を背景に認知症患者数は急増している。申請者らによる北陸のモデル地域(石川県七尾市中島町)における悉皆調査(なかじまプロジェクト)では、認知症あるいは軽度認知障害(認知症の前段階)を有する人は65歳以上の高齢者の約3割に及ぶ。それにも関わらず、当地域における認知症専門医数は人口10万人あたり0.7名に過ぎない。また、認知症専門医資格を得るためには学会認定の教育施設での研修を義務づけられるが、教育施設認定で要求される基準は指導医1名(以上)であり、十分な研修環境が整っていない施設が多い。すなわち、地域で認知症チーム医療のリーダーとして活躍できるハイレベルの専門医師を養成するという社会的ニーズに、質、量ともに対応できていない。

本事業では当地域4大学が連携し、認知症に対する高度な診療のリーダーとなる人材養成のモデルを構築する。当地域には認知症地域研究、先端的脳画像・脳機能解析研究、認知症・神経難病臨床病理研究、認知症治療薬開発研究などの実績がある。たとえば、最近発表した『緑茶摂取習慣が認知症/軽度認知障害発症のリスクを低下させる』という当地域における前向き縦断研究の成果(PLoS One, May 14, 2014)は、社会から注目されメディアにもとりあげられた。

本プログラムでは、大学間の密接なネットワーク形成により、これらの特色を活かしたプログラム編成を行う。そこでは、本科コース(大学院生対象のメインコース)を中心に、インテンシブ研修コース(地域基幹病院勤務医師対象の短期コース)、スペシャル研修コース(特色のある特定領域を集中的に研修するコース)、スーパーコース(卒前卒後一貫教育コース)を加えた4コースを設置し、地域における認知症フィールド研修から、認知症の症候学、最先端の検査法を含む診断学、分子病態・神経病理学、治療・予防学の研鑽、さらに新規診断法、予防・治療薬の開発研究法の習得に至るまでの幅広い領域を包含する実践的教育を行う。こうしたプログラムは前例のない独自のものであり、認知症専門医取得にあたって要求される研修のレベルを遙かに越えて、認知症最先端診療を支える多角的な知識・技術を実地で習得できる。本事業による認知症プロフェッショナル医師養成モデルの構築は、地域の超高齢化に対応できる認知症高度医療実践のコアとなるものであり、わが国及び世界における認知症診療の向上に貢献する。

④達成目標・評価指標

・ **認知症チーム医療のリーダーとして活躍できる認知症専門医師の養成**：認知症チーム医療リーダー養成コース(本科コース)において、認知症の症候学、神経心理学、検査診断学(バイオマーカー、PETなどの先端的技術を含む)、認知症治療学・予防学、認知症疫学・分子病態・病理学、地域包括支援・ケア、予防学といった高度な知識・技能を習得したプロフェッショナル医を養成し、認知症を治療・予防し認知症者を支えることができるチーム医療のリーダーを輩出する。達成度評価では規定単位修得、修了証授与、専門医取得、学位取得を指標とする。

・ **地域医療に貢献できる地域認知症専門医師等の養成(研修コース)**：地域認知症専門医師研修コース(インテンシブ)、地域フィールド認知症早期発見・予防・ケア研修コースや臨床病理研修コース等の重点研修コース(スペシャル)により、地域で認知症診療に携わる医師、超高齢化過疎地域においても保健師等との多職種連携によりハイレベルの認知症予防、早期発見、包括的支援を実践できる医師、認知症の臨床病理を習得した医師等を養成する。達成度評価は規定単位修得、修了証授与を指標とする。

・ **国際的視野を持ち認知症に関する新たな診断・治療法などの開発研究等を担う、高度な研究能力を有するスーパープロフェッショナル医の養成(スーパーコース)**：認知症スーパープロフェッショナル医養成のためのMedical Research TrainingプログラムやMD-PhDコース等の独自プログラム実践により、世界水準の臨床力・研究開発力を有する医師を養成する。認知症関連専門医の取得、臨床及び基礎の研究業績、研究分担者としての臨床試験への参加実績等によって到達度を総合的に評価する。

⑤キャリア教育・キャリア形成支援(男女共同参画,働きやすい職場環境,勤務継続・復帰支援等も含む。)

※本事業において、新たな取組や計画がない場合は、記入不要です。

(2) 教育プログラム・コース → 【様式A-2】

2. 事業の実現可能性

(1) 事業の運営体制

①事業の実施体制

4大学（金沢大学、富山大学、福井大学、金沢医科大学）、各大学に連携する地域認知症診療・ケア拠点施設等による運営協議会を最高決定機関とし、4大学による総務委員会（ステアリングコミッティ）、教務委員会が実際の運営を行う。連携についてはコーディネーターが調整する。教員の資質向上のためFD*委員会を設置し研修等を実施する。

*FD: faculty development

②事業の評価体制

プログラムの評価システムとして、内部評価委員会、外部評価委員会を立ち上げ、定期的（中間、最終）評価を実施し、PDCA*サイクルが確実に回るようにし、当初のKGI**が達成されるようKPI***を定期的にモニタリングしていく。また、上記の各種委員会の中でも定期的にPDCAサイクルが回るようモニタリングを行う。

*PDCA: Plan-Do-Check-Act; **KGI: key goal indicator; ***KPI: key performance indicator

③事業の連携体制（連携大学、自治体、地域医療機関、民間企業等との役割分担や連携のメリット等）

北陸4医科系大学のネットワークを中心に、北陸地域の認知症・神経難病専門医療機関、各地の地域拠点医療機関、研究機関、自治体（石川県七尾市）、民間企業等との連携をもとに遂行する。大学を中心に、地域の専門及び中核医療機関、研究施設、自治体、民間企業等が、それぞれのメリットを生かす形で有機的に連携したプログラムを実施することにより、認知症に関して世界水準の知識や技能を有し、地域における認知症診療・認知症対策のリーダーとなる認知症プロフェッショナル医師を育成する。

(2) 事業の継続・普及に関する構想等

①事業の継続に関する構想

本プランで設置した講座、教育コース等の事業は基本的に各大学において予算を確保して継続させる。特に認知症プロフェッショナル共通科目の大学連携による単位互換は、北陸地区の認知症教育のコンソーシアムの一環として位置付け、教育モデルとなるよう改善・発展させる。

②事業の普及に関する計画

本プランで設置した教育コースに関するFD研修会、IPE*ワークショップ、市民公開シンポジウム、国際セミナーを定期的に告知、開催して事業の普及活動に努める。

*IPE: interprofessional education（専門職連携教育）

(3) 事業実施計画

26年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 7月 北陸認プロ・全体会議（総務委員会、教務委員会）の開催 事業計画（中期、年度）、アクションプラン等協議 ② 7月 各研究コース関連規程等の整備 ③ 7月 ホームページの立ち上げ ④ 7月 E-learningクラウドシステム参加 ⑤ 8月 運営協議会の開催（事業計画承認決定） ⑥ 8月 FD研修会の開催 ⑦ 8月 医療スタッフ系セミナーの開催 ⑧ 9月 教育・臨床実地修練計画のための学術調査 ⑨ 9月 IPEワークショップ開催 ⑩ 10月 テレビ会議，e-learningシステムの導入 ⑪ 11月 市民公開シンポジウムの開催 ⑫ 12月 平成26年度コースの学生募集（募集要項・パンフレットの作成、説明会開催）（毎年度実施） ⑬ 2月 第1期志願者書類審査及び面接試験（毎年度実施） ⑭ 3月 キックオフシンポジウム・第1回アドバイザーボード開催
27年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 4月 北陸認プロ・全体会議（総務委員会、教務委員会）の開催 事業計画（中期、年度）、アクションプラン等協議 ② 4月 第1期大学院生入学・社会人コース受講者受入（毎年度実施） ③ 5月 ステアリングコミッティ 運営協議会の開催（事業計画承認決定） ④ 6月 FD研修会の開催 ⑤ 7月 医療スタッフ系セミナーの開催 ⑥ 8月 IPEワークショップ開催 ⑦ 11月 国際セミナーの開催 ⑧ 3月 市民公開シンポジウム開催 ⑨ 3月 第2回アドバイザーボード開催
28年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 4月 北陸認プロ・全体会議（総務委員会、教務委員会）の開催 事業計画（中期、年度）アクションプラン等協議 ② 4月 第2期大学院生入学・社会人コース受講者受入（以下第1期生の進行に準ずる） ③ 5月 ステアリングコミッティ 運営協議会の開催（事業計画承認決定） ④ 6月 FD研修会の開催 ⑤ 7月 医療スタッフ系セミナーの開催 ⑥ 8月 IPEワークショップ開催 ⑦ 1月 内部評価（中間）の実施 ⑧ 2月 外部評価（中間）の実施 ⑨ 3月 市民公開シンポジウム開催 ⑩ 3月 第3回アドバイザーボード開催 ⑪ 3月 プログラムの見直しと調整
29年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 4月 北陸認プロ・全体会議（総務委員会、教務委員会）の開催 事業計画（中期、年度）アクションプラン等協議 ② 4月 第3期大学院生入学・社会人コース受講者受入（以下第1期生の進行に準ずる） ③ 5月 ステアリングコミッティ 運営協議会の開催（事業計画承認決定） ④ 6月 FD研修会の開催 ⑤ 7月 医療スタッフ系セミナーの開催 ⑥ 8月 IPEワークショップ開催 ⑦ 11月 国際シンポジウム開催 ⑧ 11月 市民公開講座の開催 ⑨ 2月 社会人コース第1回認定審査（毎年度実施） ⑩ 3月 市民公開シンポジウム開催 ⑪ 3月 第4回アドバイザーボード開催
30年度	<ul style="list-style-type: none"> ① 4月 北陸認プロ・全体会議（総務委員会、教務委員会）の開催 事業計画（中期、年度）アクションプラン等協議 ② 4月 第4期大学院生入学・社会人コース受講者受入（以下第1期生の進行に準ずる） ③ 5月 ステアリングコミッティ 運営協議会の開催（事業計画承認決定） ④ 6月 FD研修会の開催 ⑤ 7月 医療スタッフ系セミナーの開催 ⑥ 8月 IPEワークショップ開催 ⑦ 1月 内部評価（最終）の実施 ⑧ 2月 外部評価（最終）の実施 ⑨ 2月 第1期生の学位審査・プログラム認定審査 ⑩ 3月 プログラムの見直しと調整 ⑪ 3月 事業成果報告会の開催

31年度 [財政支援 終了後]	31年度以降も、本プランで設置した講座、教育コース等の事業は各大学において予算を確保して継続させる。特に認知症プロフェッショナル共通科目の大学連携による単位互換は、北陸地域の認知症教育コンソーシアムの一環として位置付け、教育モデルとなるよう改善・発展させる。
-----------------------	---

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大学医薬保健学総合研究科脳医科学専攻
教育プログラム・コース名	認知症チーム医療リーダー養成コース（本科コース）
対象者	医薬保健学総合研究科脳医科学専攻大学院生
修業年限（期間）	4年
養成すべき人材像	認知症プロフェッショナル授業科目10単位を含む30単位以上の授業科目の履修と、認知症に関係する研究論文が学位審査に合格すること。
修了要件・履修方法	認知症プロフェッショナル授業科目10単位を含む30単位以上の授業科目の履修と、認知症に関係する研究論文が学位審査に合格すること。
履修科目等	<p>認知症プロフェッショナル授業科目*（10単位以上取得が必須。e-learning授業やテレビカンファレンス受講による単位認定を含む）</p> <p>*認知症プロフェッショナル科目（4大学が協力して設置） 認知症基礎病態学特論（1単位） 認知症症候学・診断学特論（1単位） 認知症放射線医学・核医学特論（1単位） 認知症薬物治療学特論（1単位） 認知症BPSD診療特論（1単位） 認知症ケア・地域支援特論（1単位） 認知症各論I（神経変性疾患）（1単位） 認知症各論II（血管障害、その他の原因疾患）（1単位） 認知症診断・治療研究開発学特論（1単位） 認知症診断学演習（1単位） 認知症治療演習（1単位） 認知症ケア・地域支援演習（1単位） 神経難病・認知症病理学演習（1単位）</p> <p>4大学合同カンファレンス、当プログラム公認の地域における研究会等への出席、CPCへの出席を含む。</p>
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	<p>本コースでは、地域医療機関等との連携のもとに、認知症性疾患の理解、ハイレベルの認知症診療能力育成に必須の認知症関連授業科目を履修し単位を取得し、併せて認知症関連論文を学位論文として完成させる。認知症関連授業科目の教育内容は、アミロイドPET（先端医学薬学研究センターと連携）、疾患修飾薬臨床試験（金沢大学病院）等などの先端的認知症診療技術の習得、地域（七尾市との共同で認知症地域プロジェクトを実施中）における認知症疫学・先制医療・包括支援の習得、多数の剖検を実施している神経難病専門施設（国立病院機構・医王病院）との連携による神経病理学的基盤の理解、認知症専門施設（石川県立高松病院、国立病院機構・北陸病院）との連携による認知症の行動心理症状（BPSD）及び重度認知症の診療技術の習得などの特色を有し、学会認定教育病院における研修を要件とする認知症専門医取得のために要求される研修内容を遥かに超えた教育内容を備えている。</p>
指導体制	<p>大学および連携機関に所属する認知症の各領域のエキスパートであるスタッフが、認知症の臨床、基礎、研究について直接指導する体制をとる。具体的には、金沢大学の認知症専門医師・研究者を中心に、当地域の認知症疾患医療センターである石川県立高松病院及び国立病院機構・北陸病院（地域認知症・BPSD診療）、国立病院機構・医王病院[神経難病・神経病理研修（日本神経病理学会認定施設）]、石川県七尾市（金沢大学との連携による認知症早期発見、予防、地域包括支援）、先端医学薬学研究センター（PET検査）、横河電機・金沢事業所（MEG検査）において指導にあたる。</p>

教育プログラム・ コース修了者の キャリアパス構想	本コースで養成された人材は、認知症診療に関する世界水準の知識・技能・研究力を有し、将来、医学教育機関等のスタッフや地域における認知症診療のリーダーとしてにおいて認知症診療向上、認知症チーム医療推進に貢献する。						
受入開始時期	平成27年4月						
受入目標人数	対象者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	計
	大学院生	0	3	3	3	3	12
							0
							0
							0
	計	0	3	3	3	3	12

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大学医薬保健学総合研究科脳医科学専攻						
教育プログラム・コース名	地域認知症専門医師研修コース（インテンシブ）						
対象者	地域で認知症診療に携わる医師						
修業年限（期間）	1年（延長可）						
養成すべき人材像	地域における認知症診療について病病連携、病診連携ができる優れた認知症診療能力を有する医師（認知症診療推進病院・協力病院・その他の病院・診療所に勤務する医師）						
修了要件・履修方法	1. 各地域の連携地域医療機関での認知症診療を必須とする。 2. 認知症プロフェッショナル科目5単位以上の取得（4大学合同症例カンファレンス、e-learning授業、当プログラム公認の研究会等への参加による単位を含む）。						
履修科目等	選択科目：認知症プロフェッショナル科目（『認知症チーム医療リーダー養成コース』を参照）のうち5単位以上を履修する。						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	認知症疾患の病態・神経病理、認知症診断学、放射線・核医学、治療薬、BPSD治療、地域包括支援・ケアに関して、e-learningクラウド等を利用して自己学習を行うと共に、各大学とのテレビ会議システムへの出席による演習を行う。また適宜、講師の派遣による出張演習も行う。						
指導体制	大学および連携機関に所属する認知症の各領域のエキスパートであるスタッフ（本科コースの指導体制を参照）が、認知症とその原因疾患の診断・治療について、e-learningやテレビカンファレンス等を活用して幅広く能率的に指導する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースを修了した医師は、認知症について水準以上の知識・技能を有する医師として地域医療機関で活躍し、地域における認知症診療の均てん化、適切な連携に基づく病院機能分担の促進に貢献する。						
受入開始時期	平成27年4月						
受入目標人数	対象者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	計
	地域医療機関等所属の医師	0	3	3	3	3	12
							0
							0
	計	0	3	3	3	3	12

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大学医薬保健学総合研究科脳医科学専攻（独立行政法人国立病院機構医王病院と連携）						
教育プログラム・コース名	認知症・神経難病の臨床病理研修コース（スペシャル）						
対象者	医薬保健学総合研究科脳医科学専攻（社会人）大学院生ほか						
修業年限（期間）	1年（延長可）						
養成すべき人材像	認知症・神経難病の臨床神経病理の基礎を身につけた専門医師						
修了要件・履修方法	認知症・神経難病の臨床神経病理に関わる科目等（下記）を4単位以上の履修。						
履修科目等	認知症・神経難病の臨床病理実習：独立行政法人国立病院機構・医王病院における臨床・神経病理実習（3単位）（必修） 認知症プロフェッショナル科目（『認知症チーム医療リーダー養成コース』を参照）について、4大学合同症例カンファレンス、当プログラム公認の地域での研究会等への参加、e-learning授業等に参加（1単位以上の取得を義務づける）						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	本コースにおいては、社会人大大学院生として独立行政法人国立病院機構・医王病院における実習（臨床・神経病理研修）を義務化し、認知症の原因となる神経難病の臨床及び神経病理（分子病態を含む）を習得するために必要な教育を行う。医王病院・臨床研究部では認知症疾患を含む神経難病の剖検の実績があり、剖検率は約50%である。						
指導体制	認知症・神経難病の臨床（日本神経学会及び認知症学会の専門医）及び神経病理の専門家（日本神経病理学会の評議員で学会認定施設である金沢大学・医王病院に所属）が指導者として、直接指導にあたる。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	コース修了後、神経難病・認知症の臨床病理の基礎を身につけた専門家として認知症の臨床現場のリーダー（認知症・神経難病の専門医師）あるいは研究分野（大学や研究機関の研究者）として活躍する。						
受入開始時期	平成27年4月						
受入目標人数	対象者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	計
	（社会人） 大学院生	0	1	1	1	1	4
	地域医療機関 等に勤務する 医師	0	1	1	1	1	4
							0
							0
	計	0	2	2	2	2	8

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大学医薬保健学総合研究科脳医科学専攻（石川県七尾市と連携）						
教育プログラム・コース名	地域フィールド認知症早期発見・予防・ケア研修コース（スペシャル）						
対象者	医薬保健学総合研究科脳医科学専攻大学院生ほか						
修業年限（期間）	1年（延長可）						
養成すべき人材像	地域フィールドにおいて認知症疫学、早期発見、予防、ケア等に関する幅広い知識・技能を有する専門医師						
修了要件・履修方法	認知症疫学・予防・ケア等に関わる科目等（下記）を4単位以上履修。						
履修科目等	地域認知症疫学・予防・ケア実習（3単位）（必修） 認知症プロフェッショナル科目（『認知症チーム医療リーダー養成コース』を参照）について、4大学合同症例カンファレンス、当プログラム公認の地域での研究会等への参加、e-learning授業等に参加（1単位以上の取得を義務づける）						
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	金沢大学は七尾市との連携により七尾市中島町をフィールドとする認知症地域プロジェクト（なかじまプロジェクト）の実績があり、七尾市中島市民センターに金沢大学中島研究拠点を設置している。本コースは、中島町を地域フィールドとして認知症調査、予防、認知症ケア・包括支援等に関する実習を行う独自のプログラムである。						
指導体制	金沢大学において当該地域フィールド認知症研究を行っている教員（金沢大学革新予防医科学共同大学院において認知症先制医療学を担当予定の教員を含む）、保健師等の地域自治体職員、当該地域の医療機関スタッフ等が一体となって実習指導にあたる。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コースの修了者は、認知症診療ばかりでなく、地域で急増する認知症に対する対策の立案（予防介入実践、認知症になっても笑顔で暮らせる地域など）等の幅広い領域で活躍する認知症プロフェッショナル医師となる素地をつくることできる。						
受入開始時期	平成27年4月						
受入目標人数	対象者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	計
	大学院生	0	1	1	1	1	4
	地域医療機関等に勤務する医師	0	1	1	1	1	4
							0
	計	0	2	2	2	2	8

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢大学医薬保健学総合研究科脳医科学専攻						
教育プログラム・コース名	認知症スーパープロフェッショナル養成のための卒前・卒後一貫教育コース (スーパーコース)						
対象者	金沢大学医学類学生～医薬保健学総合研究科脳医科学専攻大学院生の一貫コース						
修業年限(期間)	4年(医学類在学) + 4年(大学院在学)						
養成すべき人材像	高度の認知症診療力ばかりでなく、国際的に活躍できる研究能力を有する認知症専門医師						
修了要件・履修方法	卒前研究(Medical Research Training(MRT)プログラム等)及び大学院課程による(MD-PhDコースを含む)。大学院では認知症プロフェッショナル授業科目10単位を含む30単位以上の授業科目の履修と、認知症に関する研究論文が学位審査に合格すること。						
履修科目等	卒前:MRTプログラム等における認知症関連研究(必修) 卒後:認知症プロフェッショナル授業科目*(10単位以上取得が必須。e-learning授業やテレビカンファレンス受講による単位認定を含む) *認知症プロフェッショナル科目:認知症チーム医療リーダー養成コース(本科コース)の記述を参照						
教育内容の特色等 (新規性・独創性等)	卒前のMRTプログラム(金沢大学医学類学生のためのリサーチプログラム)やMD-PhDコースにおいて、認知症に関する研究マインドを植付け、基礎から臨床までの幅広い研究活動[試験管内研究やモデル動物を用いた基礎研究から、神経病理学的研究、臨床研究、モデル地域における疫学研究や予防介入研究(なかじまプロジェクト)]に従事し、卒後臨床研修期間中も研究を継続できる、高い認知症研究能力を有する認知症スーパープロフェッショナル医養成のための卒前・卒後一貫教育コースであり、認知症に関する高度かつ広範囲な領域をカバーする独自のプログラムである。						
指導体制	大学、地域医療機関、研究機関、地域自治体等において、大学教員が中心となって、学部学生～初期研修～大学院生に渡る一貫した指導体制をとる(本科コースの指導体制を参照)。その間、海外の一流の研究者をカンファレンス等に招き、必要に応じ短期海外留学を行い、国際一流誌に論文が掲載されるよう指導する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	国際的に活躍する認知症専門家、研究者として、アカデミアを中心として活躍し、21世紀の超高齢化社会における認知症医療・医学を指導する立場となる。						
受入開始時期	平成27年4月						
受入目標人数	対象者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	計
	大学院生	0	1	1	1	1	4
							0
							0
	計	0	1	1	1	1	4

教育プログラム・コースの概要

大学名等	富山大学大学院医学薬学教育部生命・臨床医学専攻、生命融合科学教育部認知・情動脳科学専攻
教育プログラム・コース名	認知症チーム医療リーダー養成コース（本科コース）
対象者	医学薬学教育部生命・臨床医学専攻および生命融合科学教育部認知・情動脳科学専攻大学院生
修業年限（期間）	4年
養成すべき人材像	認知症高度診療専門医師（認知症チーム医療リーダー）
修了要件・履修方法	認知症プロフェッショナル授業科目10単位を含む32単位以上の授業科目の履修と、認知症に関する研究論文が学位審査に合格すること。
履修科目等	<p>認知症プロフェッショナル授業科目*（10単位以上取得が必須。e-learning授業やテレビカンファレンス受講による単位認定を含む）</p> <p>*認知症プロフェッショナル科目（4大学が協力して設置） 認知症基礎病態学特論（1単位） 認知症症候学・診断学特論（1単位） 認知症放射線医学・核医学特論（1単位） 認知症薬物治療学特論（1単位） 認知症BPSD診療特論（1単位） 認知症ケア・地域支援特論（1単位） 認知症各論I（神経変性疾患）（1単位） 認知症各論II（血管障害、その他の原因疾患）（1単位） 認知症診断・治療研究開発学特論（1単位） 認知症診断学演習（1単位） 認知症治療演習（1単位） 認知症ケア・地域支援演習（1単位） 神経難病・認知症病理学演習（1単位）</p> <p>4大学合同カンファレンス、当プログラム公認の地域における研究会等への出席、CPCへの出席を含む。</p>
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	認知症の臨床研究等に精通した専門医を育成する。多職種連携教育を推進し、チーム医療の中心となる人材を育成する。
指導体制	認知症専門家であるスタッフ等が、認知症の臨床、基礎、研究について直接指導する。具体的には富山大学の医師を中心に、当地域の認知症疾患医療センターである谷野呉山病院、魚津緑ヶ丘病院および国立病院機構・北陸病院とも連携して指導にあたる。
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	認知症診療・教育・研究の中心となって、リーダーとして認知症医療・医学の質の向上に貢献する。
受入開始時期	平成27年4月

受入目標人数	対象者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	計
	大学院生	0	1	1	1	1	4
							0
							0
							0
	計	0	1	1	1	1	4

教育プログラム・コースの概要

大学名等	富山大学大学院医学薬学教育部生命・臨床医学専攻、生命融合科学教育部認知・情動脳科学専攻						
教育プログラム・コース名	地域認知症専門医師研修コース(インテンシブ)						
対象者	地域医療機関で認知症医療に携わる医師						
修業年限(期間)	1年(延長可)						
養成すべき人材像	地域医療機関などで認知症医療に携わる医師が、より専門性の高い教育を受けることにより、地域認知症医療の中心的役割を果たす。						
修了要件・履修方法	1. 各地域の連携地域医療機関での認知症診療を必須とする。 2. 認知症プロフェッショナル科目5単位以上の取得(4大学合同症例カンファレンス、e-learning授業、当プログラム公認の研究会等への参加による単位を含む)。						
履修科目等	選択科目：認知症プロフェッショナル科目(『認知症チーム医療リーダー養成コース』を参照)のうち5単位以上を履修する。						
教育内容の特色等(新規性・独創性等)	高齢化が進む過疎地域の医療機関に勤務する医師にも受講を容易にするためのシステムを構築し、能率よく認知症に関する適切な知識や技能を身につけることが可能にする。						
指導体制	大学や地域医療機関等の認知症エキスパート医師による直接指導、e-learningおよびテレビ会議システム等を通じた指導を併用する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	本コース修了により、地域における地域全体の認知症医療の質の向上と均てん化をはかるとともに、認知症医療人の地域への定着を推進する。						
受入開始時期	平成27年4月						
受入目標人数	対象者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	計
	地域医療機関等に勤務する医師	0	2	2	2	2	8
							0
							0
	計	0	2	2	2	2	8

教育プログラム・コースの概要

大学名等	福井大学大学院医学系研究科先端応用医学専攻
教育プログラム・コース名	認知症チーム医療リーダー養成コース（本科コース）
対象者	医学系研究科先端応用医学専攻大学院生
修業年限（期間）	4年
養成すべき人材像	認知症診療に携わる専門的な知識及び技能に加えて、本学の特色を活かしたPET、MRIの機能画像診断を用いた卓越した臨床研究活動が可能な医師。
修了要件・履修方法	認知症プロフェッショナル授業科目10単位を含む30単位以上の授業科目の履修と、認知症に関する研究論文が学位審査に合格すること。
履修科目等	<p>認知症プロフェッショナル授業科目*（10単位以上取得が必須。e-learning授業やテレビカンファレンス受講による単位認定を含む）</p> <p>*認知症プロフェッショナル科目（4大学が協力して設置）</p> <p>認知症基礎病態学特論（1単位）</p> <p>認知症症候学・診断学特論（1単位）</p> <p>認知症放射線医学・核医学特論（1単位）</p> <p>認知症薬物治療学特論（1単位）</p> <p>認知症BPSD診療特論（1単位）</p> <p>認知症ケア・地域支援特論（1単位）</p> <p>認知症各論I（神経変性疾患）（1単位）</p> <p>認知症各論II（血管障害、その他の原因疾患）（1単位）</p> <p>認知症診断・治療研究開発学特論（1単位）</p> <p>認知症診断学演習（1単位）</p> <p>認知症治療演習（1単位）</p> <p>認知症ケア・地域支援演習（1単位）</p> <p>神経難病・認知症病理学演習（1単位）</p> <p>4大学合同カンファレンス、当プログラム公認の地域における研究会等への出席、CPCへの出席を含む。</p>
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	北陸認知症プロ養成プログラム・北陸認知症プロチーム養成基盤形成プランの科目（以下、北陸認プロ科目）を履修すると共に、本学医科学専攻の機能画像医学部門（高エネルギー医学研究センター担当）の科目を履修することにより、認知症画像診断の最先端の知識・技能を修得することを特色とする。
指導体制	大学院教員を中心とした直接指導、テレビカンファレンス等による広汎な研修を組み合わせた指導体制をとる
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	認知症診療・研究のリーダーとなる卓越した認知症専門医師が育成され、アカデミアや中核医療機関のスタッフとして活躍する。
受入開始時期	平成27年4月

受入目標人数	対象者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	計
	大学院生	0	2	2	2	2	8
							0
							0
							0
	計	0	2	2	2	2	8

教育プログラム・コースの概要

大学名等	福井大学大学院医学系研究科先端応用医学専攻						
教育プログラム・コース名	地域認知症専門医師研修コース(インテンシブ)						
対象者	地域医療機関で認知症医療に携わる医師						
修業年限(期間)	1年(延長可)						
養成すべき人材像	地域の病院や診療所において、高水準の認知症診療、地域連携、在宅医療等を行うことができる医師。						
修了要件・履修方法	1. 各地域の連携地域医療機関での認知症診療を必須とする。 2. 認知症プロフェッショナル科目5単位以上の取得(4大学合同症例カンファレンス、e-learning授業、当プログラム公認の研究会等への参加による単位を含む)。						
履修科目等	選択科目：認知症プロフェッショナル科目(『認知症チーム医療リーダー養成コース』を参照)のうち5単位以上を履修する。						
教育内容の特色等(新規性・独創性等)	認知症診療の基本から、BPSDの対策、終末期医療まで、認知症の各病期に対応した、幅広い全人的医療を習得することができる。						
指導体制	認知症エキスパート医師による指導、e-learningおよびテレビ会議システム等を通じた学習を併用する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	地域において認知症の診療、地域連携、ケア等を適切に行うことのできる医師として活躍する。						
受入開始時期	平成27年4月						
受入目標人数	対象者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	計
	地域医療機関等に勤務する医師	0	5	5	5	5	20
							0
							0
							0
	計	0	5	5	5	5	20

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢医科大学医学研究科生命医科学専攻
教育プログラム・コース名	認知症チーム医療リーダー養成コース（本科コース）
対象者	医学研究科生命医科学専攻大学院生
修業年限（期間）	4年
養成すべき人材像	「認知症患者の視点」に立った「視野の広い、且つ高い品格」のある「認知症医療」を担うリーダーとなる専門医師を養成する。
修了要件・履修方法	認知症プロフェッショナル授業科目10単位を含む30単位以上の授業科目の履修と、認知症に関する研究論文が学位審査に合格すること。
履修科目等	<p>認知症プロフェッショナル授業科目*（10単位以上取得が必須。e-learning授業やテレビカンファレンス受講による単位認定を含む）</p> <p>*認知症プロフェッショナル科目（4大学が協力して設置）</p> <p>認知症基礎病態学特論（1単位） 認知症症候学・診断学特論（1単位） 認知症放射線医学・核医学特論（1単位） 認知症薬物治療学特論（1単位） 認知症BPSD診療特論（1単位） 認知症ケア・地域支援特論（1単位） 認知症各論I（神経変性疾患）（1単位） 認知症各論II（血管障害、その他の原因疾患）（1単位） 認知症診断・治療研究開発学特論（1単位） 認知症診断学演習（1単位） 認知症治療演習（1単位） 認知症ケア・地域支援演習（1単位） 神経難病・認知症病理学演習（1単位）</p> <p>4大学合同カンファレンス、当プログラム公認の地域における研究会等への出席、CPCへの出席を含む。</p>
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	高い臨床能力と研究能力を併せ持つ認知症専門医養成のための融合型教育システムの構築を特色とする。
指導体制	精神科、神経内科、老年科の3科に所属するスタッフが、それぞれの専門性を活かした指導体制をとる。
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	地域における高度の知識・技能を有する専門医師として、全人的認知症医療を行い、認知症の早期発見・都市部の専門病院との地域連携を促進する医師として活躍する。
受入開始時期	平成27年4月

受入目標人数	対象者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	計
	大学院生	0	3	3	3	3	12
							0
							0
							0
	計	0	3	3	3	3	12

教育プログラム・コースの概要

大学名等	金沢医科大学医学研究科生命医科学専攻						
教育プログラム・コース名	地域認知症専門医師養成コース(インテンシブ)						
対象者	地域医療機関で認知症医療に携わる医師						
修業年限(期間)	1年(延長可)						
養成すべき人材像	地域医療機関で高水準の認知症診療を行うことができる医師を養成する。						
修了要件・履修方法	1. 各地域の連携地域医療機関での認知症診療を必須とする。 2. 認知症プロフェッショナル科目5単位以上の取得(4大学合同症例カンファレンス、e-learning授業、当プログラム公認の研究会等への参加による単位を含む)。						
履修科目等	選択科目：認知症プロフェッショナル科目(『認知症チーム医療リーダー養成コース』を参照)のうち5単位以上を履修する。						
教育内容の特色等 (新規性・独創性等)	ICTの活用とスクーリングによる各特論の受講と、テレビ会議システム活用により症例検討会参加や各演習科目の履修を行い、効率的な学習を可能とする。						
指導体制	認知症エキスパート医師による指導、e-learningおよびテレビ会議システム等を通じた学習を併用する。						
教育プログラム・コース修了者のキャリアパス構想	コース修了後、大学病院等と緊密な連携をとって地域における認知症診療を向上させていくことができる「認知症プロフェッショナル医」として活躍する。						
受入開始時期	平成27年4月						
受入目標人数	対象者	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	計
	地域医療機関等に勤務する医師	0	3	3	3	3	12
							0
							0
							0
	計	0	3	3	3	3	12

北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン



大学拠点間のネットワークを活用した 地域医療機関・研究施設・自治体との連携による特色のあるプログラムの設置

1. 認知症チームリーダー養成コース(本科コース)(大学院生が対象、全大学に設置するメインプログラム)
2. 地域認知症専門医師研修コース(インテンシブコース)(地域医療機関に勤務する医師が対象、全大学に設置)
3. スペシャルコース(認知症・神経難病の臨床病理研修、地域フィールド認知症早期発見・予防・ケア研修ほか)
4. スーパーコース(認知症スーパープロフェッショナル医養成のための卒前・卒後一貫教育コース)

養成する人材

認知症に関して高度な知識や技能を有し、地域における認知症診療・認知症対策のリーダーとなる認知症プロフェッショナル医師を養成する。